



報道各位

2015年10月1日

住友商事株式会社

サミットエナジー株式会社

山形県酒田市における木質バイオマス発電所の建設について

東北エリア最大級のバイオマス発電所

住友商事株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：中村 邦晴、以下「住友商事」）は、100パーセント出資の特定規模電気事業会社、サミットエナジー株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：大橋 乃介、以下「サミットエナジー」）を通じて、サミットエナジーが行う電力小売り事業の新たな電源として、山形県酒田市において5万キロワットの木質バイオマス発電所（以下「酒田バイオマス発電所」）を建設します。

酒田バイオマス発電所は、サミットエナジーが100パーセント出資し2012年12月に設立したサミット酒田パワー株式会社が事業主体となり、酒田港隣接の酒田臨海工業団地に建設します。総事業費は約250億円となる見込みで、2016年6月を目途に建設工事に着手し、2018年5月の商業運転開始を目指します。

5万キロワットの木質バイオマス発電所は、東北エリアで最大級となります。バイオマス燃料は、国産木質チップおよび輸入木質ペレット等の取り扱いにおいて豊富な実績と知見を有する住友商事の生活資材・不動産本部を窓口として、調達します。森林資源の豊富な山形県及び周辺地域からの未利用材、林地残材をはじめとして、国外からも幅広く調達する計画です。

サミットエナジーは、酒田バイオマス発電所新設により、糸魚川バイオマス発電所（5万キロワット、2005年1月営業運転開始）および半田バイオマス発電所（7.5万キロワット、2017年6月稼働予定）と合わせて、大型バイオマス発電所3カ所を保有・運営する国内最大級のバイオマス発電事業者となります。

バイオマス発電は、再生可能エネルギーの中でも天候に左右されず24時間フル稼働を前提とする「ベースロード電源」に分類されます。サミットエナジーの電力小売り先である企業や2016年4月を目途に実施される電力小売全面自由化後の家庭向け需要にも対応できる電源です。

住友商事グループでは、世界各地で再生可能エネルギー案件を開発、建設、運営しており、環境ビジネスへの貢献を通じ、引き続き環境の維持改善に寄与してまいります。

<参考>

■【会社概要】

サミットエナジー株式会社

設立	:	2004年2月	
資本金	:	495百万円	
株主	:	住友商事 100%	
業態	:	特定規模電気事業者（現新電力=旧 PPS）	
保有発電所	電力小売事業	:	火力発電所 5カ所（持分発電容量：240MW） *建設中 2カ所
	IPP 事業	:	風力発電所 2カ所（持分発電容量：47MW）

■【建設予定地】



【本件に関する問い合わせ先】

住友商事株式会社	広報部	報道チーム	伊東・山脇	TEL :	03-5166-4549
サミットエナジー株式会社	企画業務部	畠中		TEL :	03-5166-4302